

総合型選抜

1. 指示があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
2. 解答用紙の所定欄に受験番号・氏名・フリガナを記入しなさい。
3. この問題冊子の不ぞろい等に気づいた場合は、手を挙げて監督者に申し出なさい。
4. 解答時間は80分です。
5. 試験終了まで、受験者の退出は認めません。

第1問

著作権の関係で
公開不可

※窓口閲覧のみ

著作権の関係で 公開不可

※窓口閲覧のみ

第2問

次の文章を読んで以下の問いに答えなさい。

個人化した社会や一人になれる社会は、「人それぞれ」という言葉と強い親和性があります。物的に豊かになったことで、私たちは、単純にものを「もつ」か、選べるようになりました。「もつ」かどうかだけでなく、どのようなものをつまみ、なにをもつかは、「人それぞれ」になったのです。

選択できるライフスタイルの幅が広がったことで、どういった人生を歩むかも「人それぞれ」になりました。どのような家族をつくるか、そもそも、家族をつくるかつくらないかも、どのような仕事をするかも「人それぞれ」に選ぶことができます。

「一人」になれるようになったことで、人とのつき合い方も「人それぞれ」の余地が増えました。会社の懇親会やゼミの飲み会への参加も「人それぞれ」で、今や強制できる時代ではありません。一人で過ごすか、それとも、つながりのなかに入っていくかも「人それぞれ」になってきました。

(中略)

多様性を尊重するという流れとともに、ある属性に特定のイメージを付与することはとても難しくなりました。というのも、植え付けたイメージが、特定の属性を貶める可能性があるからです。しかしながら、ある表現が特定の属性の人を貶めているのかどうか判断するのは、そう簡単ではありません。というのも、こういったものも、受け止める人によってその判断が大きく異なるからです。

その結果、よかれと思って制作した広告が炎上してしまうことや、ふとした発言が大きな非難を呼ぶことは少なくありません。「多様性を尊重していない」と判断されたことにより、立場を追われた人、撤回に追い込まれたものはたくさんあります。

また、ある表現に対する解釈が分かれ、非難合戦になることもあります。チェーンのコンビニエンスストアであるファミリーマートは、プライベートブランドの総菜類に「お母さん食堂」という名前をつけて売り出していました(2021年10月にリニューアル)。この商品名に対して、「お母さん=料理や家事」というイメージを固定化するものとして、反対の署名が集められました。この署名に対しては、賛成するもの、やり過ぎだと反対するもので激しい非難合戦が繰り広げられました。

(中略)

言葉や表現がリスク化した社会で自らの身を守るには、危険に近づかないのがいちばんです。そうなりますと、対人関係であれば、なるべく突っ込んだ発言をせず、「人それぞれ」としてその場をやり過ごす方策が選択されやすくなります。表現文化の世界であれば、穏当な表現が優先されるようになります。

しかし、このような状況は決して望ましいものではありません。というのも、相手に関わろうとしないことが、もっともよい選択になってしまうからです。

本来、「個を尊重する社会」では、お互いがみずからの意見を率直に表明し、活発な議論が行われるはずでした。しかし、他者を傷つけ、自らが傷つくことにおびえる「人それぞれの社会」では、活発な議論は望めません。人びとは互いに関心があるようにみせつつ、つながりから緩やかに退き、自らを守っているのです。

出典：石田光規『「人それぞれ」がさみしい——「やさしく・冷たい」人間関係を考える』(ちくまプリマー新書、2022年)(出題にあたって一部改変した)

問

文章全体をふまえたうえで、下線部のように相手と関わろうとしないことが最良の選択となる理由を300字以内の日本語で説明しなさい。

問題はここまでです